2　肉用牛（繁殖）経営指標

№.	1	2	3	4	5
【立地条件】	土地条件の制約が小さい地域（主として北海道）		土地条件の制約が大きい地域（主として都府県）		
【土地条件】	畑又は水田	畑主体	水田	水田	畑又は水田
【経営形態】	家族・複合	家族・専業	家族・複合	家族・複合	家族・専業
【飼養形態】	繁殖雌牛 50頭	繁殖雌牛 100頭	繁殖雌牛 10頭	繁殖雌牛 30頭	繁殖雌牛 80頭
飼養方式	牛房群飼 連動スタンチョン	牛房群飼 連動スタンチョン ほ乳ロボット	繋ぎ ＣＢＳ（ＣＳ）利用	牛房群飼 連動スタンチョン	牛房群飼 連動スタンチョン 早期離乳
外部化			ＣＢＳ（ＣＳ）		
給与方式	分離給与	分離給与	分離給与	分離給与	分離給与 稲ＷＣＳ利用
放牧利用	公共牧場	—	水田放牧（２ha）	水田放牧（５ha）	—
ふん尿処理方式	たい肥化	たい肥化	たい肥化	たい肥化	たい肥化
【飼料生産】					
作付体系	混播主体	混播主体	混播主体	混播・トウモロコシ	イタリアン・スーダン
外部化	—	コントラクター	—	—	コントラクター
作付面積	18ha	28ha	３ha	12ha	23ha
【牛】					
分娩間隔	12.5ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12.5ヵ月	12ヵ月
初産月齢	23.5ヵ月	23.5ヵ月	23.5ヵ月	23.5ヵ月	23.5ヵ月
出荷月齢	８ヵ月	８ヵ月	８ヵ月	８ヵ月	８ヵ月
出荷時体重	260kg	260kg	260kg	260kg	260kg
【土・草】					
10ａ当たり生産量	混播牧草4,100kg	混播牧草4,100kg	混播牧草4,300kg	混播牧草4,300kg 青刈りとうもろこし5,400kg	イタリアン7,200kg スーダン7,500kg
経営内飼料自給率	70%	60%	60%	70%	60%
粗飼料給与率	80%	80%	80%	80%	80%
たい肥利用方法	経営内利用10割	経営内利用10割	経営内利用10割	経営内利用10割	経営内利用10割